2023年秋期試験対策

新試験制度に 対応しています 解説講義を Webで無料配信

※応用情報技術者・高度区分(一部抜粋)となります ※9/11(月)13:00から配信開始予定です。

情報処理技術者試験

情報処理安全確保支援土試験

公開模試のご案内

自宅 受験 8月23日(水)より問題発送

全試験区分に対応!

- AP 応用情報技術者
- DB データベーススペシャリスト
- ES エンベデッドシステムスペシャリスト
- PM プロジェクトマネージャ
- AU システム監査技術者
- SC 情報処理安全確保支援士

2023年 8月2日(水) お申込み 締切

的中情報は中面をご覧ください。➡

実力判定の決定版!

出題傾向を徹底的に分析した 「厳選予想問題」を出題します!

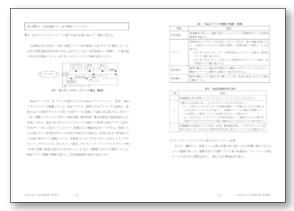


TAC公開模試の特徴

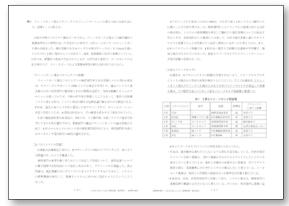
01

本試験レベルの**オリジナル問題**

本試験を知り尽くした講師陣が試験傾向を分析し、これまでに蓄積した問題データベースをもとに、TACの公開模試は 作成されています。最新の試験傾向を反映した、まさしく本試験レベルの予想問題をご提供いたします。



<応用情報技術者試験公開模試 午後問題>より一部抜粋



<プロジェクトマネージャ試験公開模試 午後 I 問題>より一部抜粋



情報処理安全確保支援士試験 合格 T·Wさん

問題のテーマとレベルが本試験に近く、過去の出題傾向がよく分析されていま した。解説も要点をハッキリと説明されており、何をどのように書くべきかがよく 理解できました。受験後も模試問題を何度か解くことでさらに実力がつきます。 システム監査技術者試験 合格 Y・Tさん

過去数年分の過去問を解いたあとに公開模試を受験しましたが、難易度的に は過去問と変わらない質の高い問題でした。公開模試である程度、得点することができれば、本試験までの準備は相当余裕をもって臨めるのかと思います。

02

詳細な**解答解説冊子**

解答解説冊子では問毎に詳細な解説を掲載していますので、正解を導き出すための思考プロセスを確認できます。公開模試は受けた後が大切です。TACの解答解説冊子は復習の効率まで考えて作られていますので、弱点分野をしっかりとフォローでき、合格をより確実なものにできます。



<応用情報技術者試験公開模試 午後問題解説>より一部抜粋



<プロジェクトマネージャ試験公開模試 午後 I 問題解説>より一部抜粋



応用情報技術者試験 合格 K·Nさん

受験後に配付される解答解説には丁寧な解説が記載されており、さらにWebで解説講義が視聴できることも良かったです。模試を受けたらそれで終わりではなく、どのような解答プロセスを経るのかをしっかりと復習することができました。

システム監査技術者試験 合格 F・Kさん

解答解説は丁寧で疑問点が解決し、よく理解できました。実は公開模試の結果は厳しいも のでしたが、解答解説を参考にして最後の復習ができ、合格につなげることができました。本 気で論文を書く時間はそう確保できないので、公開模試は貴重な経験になると思います。



合格のためには「身につけた知識の総整理」と「直前期に克服すべき弱点分野の把握」が必要です。

TACの公開模試は、厳選された予想問題とわかりやすい解答解説、詳細な成績表で本試験直前の学習効果を飛躍的にアップさせます。

03

様々なデータが掲載された成績表

受験者の得点を、コンピュータにより集計・分析し、全受験者中の順位や団体内の順位、個々の受験者の合否判定を行います。 現時点での客観的な自分の位置づけを把握し、かつ弱点分野を発見することにより最終的な受験対策の総仕上げができます。 また、ご担当者様には団体成績表、分析チャートをお配りいたしますので、受験者の個別指導にご利用いただくことも可能です。

総合判定

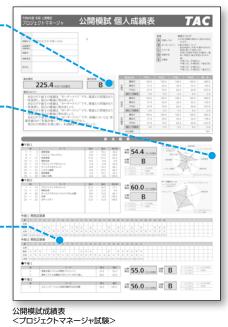
「現時点での実力が受験 者の中でどの位置になる のか」を判定します。

得点チャート

分野別の得点を一目でわかるようにチャートで表示。得意分野と不得意分野 が明確に把握できます。

設問別正答率

設問毎に受験生全体の正 答率を表示。自分の解答を 照らし合わせることで弱点 分野が明確になります。



団体成績表 ご担当者様には団体 成績表をお渡しいた します。







04

会場受験で**本試験の予行演習**

TAC会場受験をお申込みの場合は、本試験同様の形式、出題内容で本番さながらの雰囲気が体感できますので、本試験の予行演習には最適です。



プロジェクトマネージャ試験 合格 S・Aさん

午後II試験の論述において、本試験前に約2,000字を書く作業に慣れておく必要があると考えていたので疑似体験としてとても役に立ちました。公開模試を受験したことで自分自身の学習達成度を定量的に把握することができました。

変更前

出顕形式

出題数

解答数

配点(合計)

情報処理安全確保支援士試験 合格 H·Oさん

本番1ヶ月前に、本試験と同じタイムテーブルで模擬試験を経験するというのはやはり 大きいと思いました。TACの公開模試は難易度・出題内容ともに本試験とほぼ同等で したので、本試験に臨むにあたっての課題を明確にする良い機会となったと思います。

試験TOPICS

情報処理安全確保支援士試験・

エンベデッドシステムスペシャリスト試験

令和5年度秋期試験から の出題構成の変更内容に ついて

変更後	午後試験
試験時間	150分
出題形式	記述式
出題数	4問
解答数	2問
配点(合計)	50点/問

情報処理安全確保支援士試験

午後I試駅 120分

記述式

2問

1問

100点/問

午後I試験

記述式

3問

2問

50点/問

エンベデッドシステムスベシャリスト試験				
変更前	午前Ⅱ試験	午後I試験	午後Ⅱ試験	
試験時間		90分	120分	
出題形式		記述式	記述式	
出題数	変更なし	3問	2問	
解答数		2問	1問	
配点(合計)		50点/問	100点/問	
出題範囲	組込みシステムの開発などに 関する専門知識	いずれも設計	├·開発分野	

変更後	午前Ⅱ試験	午後I試験	午後Ⅱ試験
試験時間		90分	120分
出題形式		記述式	論述式
出題数	変更なし	2問	3問
解答数		1問	1問
配点(合計)		100点/問	評価ランクによる
出題範囲	組込みシステムの 企画・開発などに関する専門知識	主に設計・開発分野	企画·要件定義分野 及び設計・開発分野

TAC 公開模試は 令和5年度秋期試験からの 出題構成の変更に対応しています

1

お申込み形態及び受験料のご案内

お申込み形態 採点付 TAC会場受験 採点無

採点付き・TAC会場受験・採点無しの受講形態をご用意いたしております。各専用申込書にご記入の上、お申込みください。
※申込書は弊社営業担当者よりデータにてお渡しいたします。

採点付 専用申込書

◆教材送付先:ご担当者様宛

お申込み人数分の教材一式をご担当者様宛にお送りいたします。各企業・団体様で試験を実施していただき、解答済みの答案を提出締切日までに弊社宛にお送りください。

◆教材送付先:受験者個人住所宛

ご受験者ごとに名簿に記載された住所へ問題・答案用紙等をお送りいたします。各個人で試験を実施していただき、解答済みの答案を提出締切日までに弊社宛にお送りください。解答解説は、後日別送となります。

注意 採点付、TAC会場受験をお申込みの場合、教材と採点結果の送付先住所を別にすることはできませんのでご了承ください。

TAC 会場受験 専用申込書

◆受験案内送付先:ご担当者様宛

ご担当者様宛にお申込みいただいた方の受験票をお送りいたします。事前にご受験者へ配付いただき、実施当日受験票を持参し各試験会場で受験してください。

◆受験案内送付先:受験者個人住所宛

お申込みいただいた方の個人住所宛てに受験票をお送りいたします。実施当日受験票を持参し各試験会場で受験してください。 ※TAC会場受験:受験票裏面に記載の会場にてご受験ください。 ※会場受験の実施地区は東京、名古屋、大阪となります。

注意 採点付、TAC会場受験をお申込みの場合、教材と採点結果の送付先住所を別にすることはできませんのでご了承ください。

採点無 専用申込書

◆教材送付先:ご担当者様宛

お申込み人数分の教材一式をご担当者様宛にお送りいたします。各企業・団体様で実施してください。採点及び成績表の発行はいたしません。

受験料

試験区分	採点付·TAC会場受験	採点無
応用情報技術者	6,400円 /人	3,200円 /セット
データベーススペシャリスト	10,000円 八	5,000円 /セット
	8,900円 /人	4,450円 /セット
エンベデッドシステムスペシャリスト	11,000円 八	5,500円 /セット
エンベデッドシステムスペシャリスト(午前I試験免除)	10,000円 /人	5,000円 /セット
プロジェクトマネージャ	11,000円 /人	5,500円 /セット
	10,000円 /人	5,000円 /セット
システム監査技術者	11,000円 /人	5,500円 /セット
ー システム監査技術者(午前 I 試験免除)	10,000円 /人	5,000円 /セット
情報処理安全確保支援士	10,000円 /人	5,000円 /セット
情報処理安全確保支援士(午前I試験免除)	8,900円 /人	4,450円 /セット

[※]上記受験料は、教材費・消費税10%が含まれます。

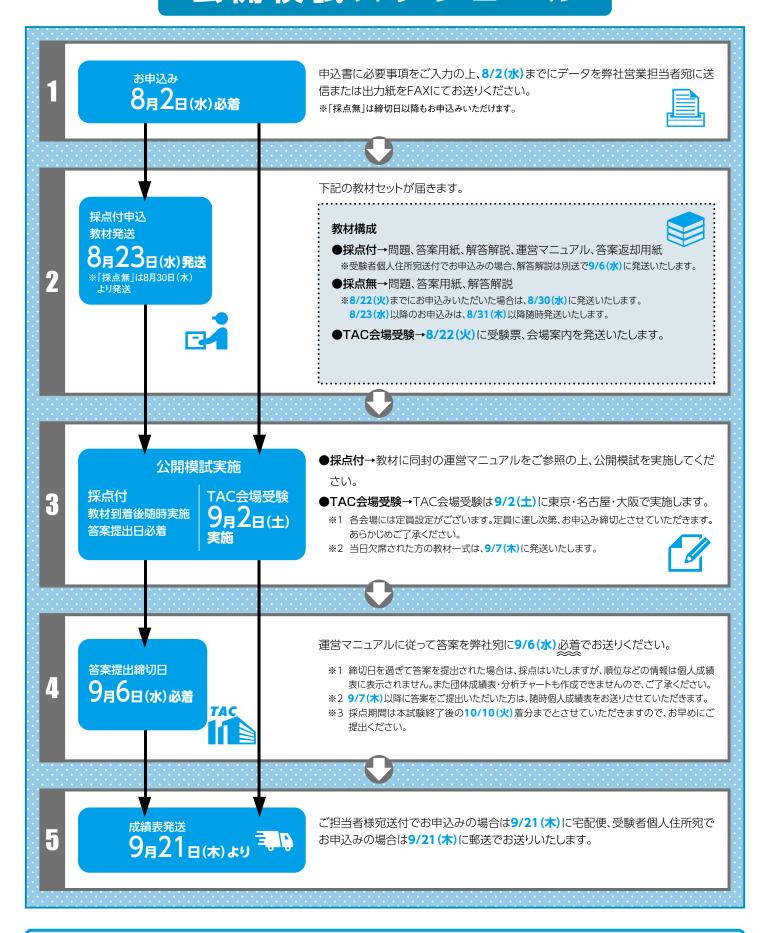
- ◆各試験区分1名様あたりの価格となります。原則として、1団体につき15名様以上からお申込みをお受けいたします。15名様に満たない場合は弊社営業担当者にご相談ください。
- ◆「採点無」は問題・答案用紙・解答解説をお送りします。採点及び成績表の発行はいたしません。
- ◆「高度区分(午前I試験免除)」「情報処理安全確保支援士(午前I試験免除)」の教材は、午前I・午後I・午後I/午後(SCのみ)の問題・答案用紙・解答解説冊子となります。

Web模試(情報セキュリティマネジメント・基本情報技術者)

情報セキュリティマネジメント、基本情報技術者は本試験のCBT化にともない、PC上で受験するWeb 模試をご用意しております。詳細は別途専用案内書をご確認ください(2023年6月ご案内予定)。



公開模試スケジュール



ITパスポートWebテストのご案内

CBT試験対策として、Web上で実施できるテストをご用意しております。本試験と同レベルの問題を全3回分受験することができます。 受験前に学習の総まとめとしてぜひご活用ください。詳細は別途専用案内書をご確認ください。



令和4年度秋期・令和5年度春期本試験で

ズバリ的中しました!



TACは1985年の情報処理講座開講以来、本試験問題を分析してデータを蓄積しています。その分析結果を踏まえて、 直前の予想問題「公開模試」を作成しています。令和4年度秋期・令和5年度春期本試験で的中した問題を一部ご紹介いたします。

AP 応用情報技術者 令和5年度 春期試験

午前試験

TAC公開模試	本試験問題	的中したテーマ	TAC公開模試	本試験問題	的中したテーマ
問26	問29	データモデルの多重度	問48	問46	モジュール独立性
問31	問32	データ伝送の計算			

SID 情報処理安全確保支援士 令和5年度 春期試験

午前試験

的中したテーマ	本試験問題	TAC公開模試
Pass the Hash攻擊	問2	問4
SAML認証	問3	問7
ISMAP	問8	問10
サイドチャネル攻撃	問11	問5

午後Ⅱ試験

TAC公開模試	本試験問題	的中したテーマ
午後I試験·問1	問2	CRYPTREC暗号リスト (電子政府推奨暗号リスト)

IB データベーススペシャリスト 令和4年度 秋期試験

午前Ⅱ試験

TAC公開模試	本試験問題	的中したテーマ	TAC公開模試	本試験問題	的中したテーマ
問1	問1	NoSQL	問12	問14	トランザクションの隔離性水準
問2	問2	データモデルの多重度	問11	問15	ACID特性
問8	問6	JOIN演算子を使ったSQL文の実行結果	問16	問16	CEP(複合イベント処理)
問7	問10	集合演算			

PM プロジェクトマネージャ 令和4年度 秋期試験

午前TI試験

1 133 130/30					
的中したテーマ	本試験問題	TAC公開模試			
RACIチャート	問4	問4			
タックマンモデル	問5	問9			
期待金額価値の計算	問12	問10			
XPのプラクティス	問16	問16			

午後I試験

TAC公開模試	本試験問題	的中したテーマ
問1	問1	チャットボットの導入

システム監査技術者 令和4年度 秋期試験

午前試験

TAC公開模試	本試験問題	的中したテーマ	TAC公開模試	本試験問題	的中したテーマ
問10	問9	金融庁"財務報告に係る内部統制の評価	問17	問17	AES
[D] T U	ا ا	及び監査の基準"の内部統制の基本的要素	問19	問20	OP25B
問16	問16	コンティンジェンシー理論	問21	問21	トランザクション障害のロールバック処理

午後I試験

TAC 公開模試 問2

KH江戸南郷区の近点を守むうたけてあり、早くから知口の集役管理システムを与えして、東北東海の自身住に収り組入できた。しかし、東江東の総合を重も合社が立ちたメラルが応じる。 の近代が近とフェラルであるが、大きなで、自体型のでは大きなではなっては、またのシステルに表面がよったが、「他国でした機能がある」といったが、でして、日は、海のウステル間のかったものか、システル間のからまたがした。が、大きたの間は、村内のシステムは行が明する。システム間は、システムの間は、村内のシステムは行が明する。システムが同じ、システムの間は、日内のシステムは行が明する。システムがは、システムの間は、近日のシステムは同じと、システムの日のシステムでは関係し、当年のステムである。

ステーナホルデのニーズを取り込んだ、利用を収込のシステムを開発する。
 今後の業務の拡大を予慮したキャバシティを実践する。
 実際の業務に表示いた要百定義やサストを行う。

K村の総信得は、終システムの開発計算や契約定義が端切に行われていることを 検証するため、転を学にシステム配金の実施を会じた。これを受けて、拡査学は終 システムに対する報告や一点を構成し、システム配金を実施した。

監査テームは、新システムの開発主体となるシステム同発制と、利用部門の主 体となる言葉形に対して、予備調査を実施した。予備調査で明らかになった事項

(1) 開発は先立って行われた新システムの企画では、システム開発部が中心となって、ステークホルグであるシステム巡洋部や利用部門各部からの意見をと

監査証拠として、監 査の際に確認したド キュメントの名称を 問うている点

D記述を訪んで、放門に催えよ。

本試験 問題

A 社は、行動データに固有の参考を割り出てて特定の会員を課別できないようにし 行動物性分析に活用している。

- 2 -

TAC 公開模試 問1

PRIO、オフィス製の私 着力、ロッホー、パーティシックとを主力製造してみ 付出業品の商品がである。 PRIMINO機会をサラク会付の人札・オフィの役の の外の公司は一点とならがサップ会から用する。 Vari Juliusで中心を構成の様に、 3円の製造ノステムを集合することになった。 PRO例如定会成は、現立する技術 ステムことに基ケールを構成し、現代海が代表を対うこととした。その主意 ARMERA ZAROの場合を対することとなった。 KRET - アイトの企会・ ARMERA ZAROの場合を対することとなった。 KRET - アイトの企会・ ム(以下、販売チームという)である。

(6日の可望)
並ら、高額田(人間やサイスゼラを削水)で変ましたことに対い、裏面は人 また、風間になないた。しかし、一号年をの遺産が必要まにつく、サフィス度 実は成分時間にある。別なて、最ら点が多り間にこって、他が指揮やサフィ オクィスを多えたるを認め回えてからい。 戸程は、コのようなマーティクを配に対してもため、人材と自転を表が高し、 で、認めの前か上側でからが多りを出るし、別しかから間をからまでは同じてか サことになっまた。合併の人間の特別に対すが可が必かっかです。ある様から 人間的の人性の機能を一の原理ではないっなど、カケ原な に対するが確認しました。

A社、B社ともに、効務形態や称与体系が学社と異なるため、各社の人事部門 がそれぞれ後自に人事管理業務を行っている。ただし、9件の意向により、貸 用している人事管理システムは同じフラトウェアバッケージを募入している。



責任者の承認の有 無や適切性を監査 の観点として取り上 げている点

本試験 問3

金融機関であるC社は、新しい情報技術やクラウドサービスなどの活用によって、 無機能能するからなが、あしい情報状態やワラフドマーと人をどの出れたようで、 新たなサービス条件の基本的な次等を達置のている。一方で、自社のコンピュータ センターで運用している最終系を何心とする状态の情報システムにおいて複数が発 生すると、顕実や業務に多大な影響を及ぼす可能性があることから、情報システム にするか、関係で選邦に与えた物理を返すする環境があるとこから、環境シッチン 交叉変種を重要では野球型の一つと信頼ができた。 ステム議事の事項と受話の市材と心環事のを比較ならく新度をよったネテム部は、 物型がシステムの実施のたので指数を残れてきる。 重要がに、システム議門機関(ロア、運用機関という、同常する場合と定均 に実施しており、今回の連携を開発的の中の、システムが高度管理 について、3名の影響が一点によるシステム配置を発展することにした。

の上も出っていた。 の社の運用実際の体制は、図1のとおりである。



○社の選用集員の状況は、次のとおりである。

 () 「ガシステム版には、システム版目接近とつの開発推があり、各関発課はそれである。
 でおの選売システムについて開発、何や社団はしている。
 ジュクテム版目は、おけっの選択維持を終め着ロであり、これシステムの企場を執済する要割を狙っている。

IS エンベデッドシステムスペシャリスト 令和4年度 秋期試験

問2

午後Ⅱ試験

TAC 公開模試 問2

E社は、自由キメーカであり、国上交通者が近める自由を選集自動化レベルのレ ベルドに選考する自由発転システム(以下、ムシステルという)を開発している。A システムは、高速返路内の自発性を忽定して同発を進めている。

(み2オナムの全体報義) カシステムの全体報義を向けに示す。Aシステムは、Xクラウド上の全体分析システムとはず、全体分析システムという」と、単同ごとに最良される市富額書とす。テムの当成。A明は各様センサから自義とはご必要をセンサアーチを報信して、場所センサデータとして就有する。

全体分析システムは各単向から封所センサデータを収集して、全体センサデ 会保護システムは毎年時に対象でシャデーを収配して、空間センテデー をして活性。位置へ、全位的サステムは、川が世の間により、 センテデーを分析して、全が音ケーを生まてる。定年時とステムは、② 相関さるエネルのをはまれると、全が音ケーからな、、指の場合ステムは、② のでガテーを装削して、他が展立ステムへである。中の間にステムは全分が ガスキムーの人はアンテートをは同じた。では、100というとして似 する。な、選近の110は上書きる。最初の音ケーナだけをもっ。

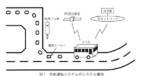


ードウェア権成の概要を図2に、各ECUの動作の概要を

本試験

自動運転システムに ついて取り上げてい る点が一致

F. 計は、複雑的での実験者の移動で設を目的としたで影響的であるチュニティバス と市委劫が外の病院との間など、決まった 2 点間を維料で運行するシャトルバスで 途中にバス停は作らず、平野部の片側 1 車隊の道路を挿入で走行することを想定し ている。自動運転システムのシステム構成を図りに示す。



磁気マーカーは、始発バス停付近、終点バス停付近。交差点内、及び急なカーブ の運送に、C バスが走行する申録(以下、走行率結という)の中央に 1s 関係で連

の課題に、イバタの行かを帰る (以下、資中制化いり) の中央に 1m 機能で建 並分れている。 ・物学館は、イバスの適けを監察し、議略から直接からを行うことが可能である。 C パスへの直漏や6の設かとして、免用限は、使申請は、及び事業等トアの展開を 近かできる。 ・「バスの運用機能とにトンネルはなく、こパは、67 流化機能とかの環境を保定 できる。

Web解説講義

応用情報技術者・ 高度区分(一部抜粋) 公開模試の解説講義を Webで配信します。

配信開始予定日

9₁11₌₍₁₎

TAC動画 情報処理

検索



お申込み方法

お申込み締切

2023_年0月2日(水)

弊社営業担当者よりお渡しする専用の申込書データに必要事項をご入力の上、お申込み締切日までに弊社担当者宛にお送りください。申込書は、申込形態別になっております。複数の形態をお申込みの場合は、お手数ですが申込形態ごとに各専用の申込書に必要事項をご入力の上、お送りください。ご受験者名簿は試験区分ごとに作成ください。複数の試験区分をお申込みの場合は、お手数ですが試験区分ごとに分けてご入力ください。

お申込み・お問い合わせ先

TAC株式会社 法人事業部 情報処理担当

〒101-8383

東京都千代田区神田三崎町3-2-18 TAC本社ビル TEL.03-5276-9802(直通) FAX.03-5276-8935(直通)

〒453-0014

愛知県名古屋市中村区則武1-1-7 NEWNO名古屋駅西 TEL.052-977-1051(直通) FAX.052-559-6668(直通)

〒530-0015

大阪府大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル5F TEL.06-6371-1075(直通) FAX.06-6371-7306(直通)

個人情報のお取扱いについて

- 1 事業者の名称 TAC株式会社 代表取締役 多田敏男
- 2 個人情報保護管理者 個人情報保護管理室 室長連絡先 E-mail: privacy@tac school.co.jp
- 3 利用目的 ※詳細はTACホームページをご参照ください (https://www.tac-school.co.jp)

お預かりした個人情報は、TACが提供する受講サービス、顧客管理等に関して利用します。

取得した閲覧履歴や購買履歴等の情報は、サービスの研究開発等 に利用及び興味・関心に応じた広告やサービスの提供や受講期間終 了後も、会員向けの受講案内や就職・転職に関する情報提供に利用 する場合があります。

4 第三者提供について

お預かりした個人情報は、お客様の同意なしに第三者に開示、提供することはありません(ただし、法令等により開示を求められた場合を除きます)。

5 個人情報の取扱いの委託について お預かりした個人情報を業務委託する場合があります。

- 6 情報の開示等について
 - 個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、削除、利用または提供 の停止を請求できます。下記の窓口までご相談ください。
- 個人情報に関するお問合せ窓口 E-mail: privacy@tac-school.co.jp 7 個人情報提供の任意性について
 - TACへの個人情報の提供は任意です。ただし、サービスに必要な個人情報がご提供いただけない場合等は、円滑なサービスのご提供に支障をきたす可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 8 安全対策の措置について
 - お預かりした個人情報は、正確性及びその利用の安全性の確保の ため、情報セキュリティ対策を始めとする必要な安全対策を講じま す。
- 9 その他

個人情報のお取扱いの詳細は、TACホームページをご参照ください。https://www.tac-school.co.jp